



グリーンプリントイングニュース

2025GP環境大賞等表彰式・ 「印刷と私」トークショー開催

日印連は、去る10月15日(水)、出版クラブホール(東京都千代田区神田神保町)において、「2025GP環境大賞等表彰式」、「印刷と私」トークショーを開催し、終了後に懇親会を開催した。

今回は、受賞企業・団体の代表者の他、GP推進部会・ワーキンググループ委員、認定委員、審査員、報道関係者に加えて、小山薰堂グリーンプリントイングPR大使、「印刷と私」トークショー・ゲスト、ノンフィクション作家の野地秩嘉(のじ つねよし)氏をお招きして、約120名が参加した。



GP環境大賞等表彰式

日印連副会長・添田秀樹氏による開会挨拶の後、GP環境大賞各賞、GPマーク普及大賞各賞、GP資機材環境大賞各賞の順で表彰が行われ、代表者から謝辞をいただき、最後に小山薰堂PR大使の挨拶をいただいた。

開会挨拶(日印連副会長・添田秀樹 氏)

まずは、各賞を受賞される皆さま、この度は誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。また、ご関係の皆さま方には、平素からグリーンプリントイング認定制度にご理解とご協力を頂き、重ねて御礼を申し上げます。

本日は皆様のお力添えのもと、このように表彰式を開催できること、深く感謝申し上げます。

改めまして、GP認定制度についてご紹介しますと、遡りますこと2001年、環境配慮への社会的な要求に応えるため、環境に対する印刷産業の自主基準である「印刷サービスグリーン基準」を制定し、その後の2006年に、この基準を達成した印刷工場、印刷製品、印刷資機材に対し、評価と認証を与える制度を順次スタートさせました。2015年には、GP認定制度の枠組みの中で、当制度の趣旨をご理解され、ご尽力を特に頂いておりますクライアント企業様を表彰させて頂く「グリーンプリントイング環境大賞」を創設し、併せて、GPマークの普及を積極的に推進されている事業



所を表彰する「GPマーク普及大賞」、環境負荷を軽減する資材や機材を提供されたメーカー様を表彰する「GP資機材環境大賞」をそれぞれ設け、以来、表彰させて頂いております。

また、本日ご列席の小山薰堂様には、GP制度のより一層の認知のために、2016年より「グリーンプリントイングPR大使」にご就任頂き、普及拡大に努めて頂いております。

小山様は、皆様ご存じの通り、一昨日閉幕した大阪・関西万博のシグネチャーパビリオン「EARTH MART(アースマート)」をプロデュースされており、大変お忙しい中、本日ご参加を頂いております。

更に、表彰式後のトークショーでは、小山様とノンフィクション作家の野地秩嘉(のじ つねよし)様から、印刷に纏わるお話を予定しておりますので、どうぞご期待ください。

さて、私ども日本印刷産業連合会は、クライアント企業様へGP制度の認知を更に進め、GP認定工場へ印刷物をご発注頂くことにより、サプライチェーン全体での環境への負荷低減を目指しております。

本日受賞された皆様、並びにご関係の皆様方に於かれましては、引き続きGPマークのより一層の普及にご尽力を賜り、印刷産業における環境課題の解決にお力添えを賜りたく、改めてお願いを申し上げる次第でございます。
と開会挨拶を述べた。

- ◆GP環境大賞は、GPマーク表示印刷製品を数多くご発注されたクライアント企業・団体に対して、感謝の意を込めて授与させて頂くものです。GP環境大賞を過去3回受賞したクライアントには、4回目の表彰時にその活動に対して最大の賛辞と敬意を表するために「GP環境大賞ゴールドプライズ」を設けています。また、GP環境大賞に準ずる賞として、GP環境準大賞を設けています。
- ◆GPマーク普及大賞は、グリーンプリントイング認定工場の中で、GPマークの表示件数が多く、GPマークの普及に貢献した印刷会社を表彰するものです。大賞を過去3回以上受賞した会社には、GPマーク普及大賞ゴールドプライズを設けています。また、GPマーク普及大賞に準ずる賞として、GPマーク普及準大賞を設けています。
- ◆GP資機材環境大賞は昨年度もっと多くの新製品を登録したメーカー様に、授与するものです。なお、この賞には資材部門と機材部門があり、今年度から過去に受賞したメーカーも表彰対象になりました。

GP環境大賞ゴールドプライズ表彰



GP環境大賞表彰

GP環境準大賞表彰



GPマーク普及大賞ゴールドプライズ表彰



GPマーク普及大賞表彰



GP環境準大賞・準大賞受賞代表者の挨拶

(株式会社教育芸術社 代表取締役社長 市川かおり様)

各賞の賞状の授与と記念撮影が終わると、受賞者を代表して株式会社教育芸術社の市川かおり代表取締役社長が「弊社は音楽の教科書を作る出版社。子どもたちに環境問題に少しでも関心を持ってほしいという願いを込めて、グリーンプリントイング



マークを小中学校の教科書に入れた。未来を担う子供たちのためにもますます環境に配慮した教科書を作っていくたい」と受賞謝辞を述べた。

GPマーク普及準大賞表彰



小山薰堂グリーンプリンティングPR大使の挨拶

表彰式の最後には、2016年からグリーンプリンティングPR大使を務める、放送作家・脚本家の小山薰堂氏が登壇。大阪・関西万博でシグネチャーバビリオン「EARTH MART」をプロデュースした小山氏は「万博で気付いたことが二つある。リアルに集まるこの重要性、これは人が新しい絆を作っていく上で本当に大事なこと。もう一つは、世の中には立場の違う人、違う価値観を持った人がたくさんいると認め合うこと。それを理解したうえで一緒に行動を起こす。思えばグリーンプリンティングも立場の違う人を同時に表彰している。立場は違えど思いは一つ。グリーンプリンティングという、もしかしたら大屋根リングよりもっと大きな円の中で皆が集う。大切なことは一緒の場所で同じ感動を共にするということ。それで絆が深まる。印刷物というのは色々な人の心をつなないだり感動を与えてくれる媒体。世の中の感動を作る。それが絆を深め、ひいては未来の社会を作っていく」と閉会挨拶を述べて式を締めくくった。



GP資機材環境大賞表彰



「印刷と私」トークショー

表彰式終了後は、恒例の小山薰堂PR大使がゲストと印刷にまつわる話を繰り広げる、「印刷と私」トークショーが行われた。今年のゲストは、ノンフィクション作家の野地秩嘉(のじつねよし)氏。『キャンティ物語』『サービスの達人たち』『TOKYOオリンピック物語』など、さまざまなジャンルの著作があるが、この日の出席者の多くが企業経営者とあって、

近著の『トヨタ物語』『伊藤忠 商人の心得』の取材で得られた企業経営に関する知見を紹介。

世界中で当たり前に使われているQRコードの生い立ちはトヨタの生産現場のカイゼンだった話を皮切りに「い



い会社には(技術革新とは違う)イノベーションがある」「発見とカイゼンとは」「サラリーマン社長は社会のためを考えた方が長続きする」「伸びる会社は長期で経営を考える」など、トヨタと伊藤忠の具体例を列挙して“良

い会社”について語り合った。

最後に小山氏から「良い会社になるためには何から始めたらいいですか」と尋ねられると、野地氏は「まずは労働環境の整備。伊藤忠の岡藤会長は社員が働きやすい環境をいかにして作るかしか考えなかった。次に就職人気を上げる。優秀な女性が来るようにする」と即答。

会場の参加者の多くが「なるほど!」と深くうなづき、盛大な拍手の中、トークショーを終了した。



懇親会



乾杯挨拶 株式会社文伸
代表取締役社長 川井伸夫様

長 川井伸夫様の乾杯挨拶で始まり、クライアント企業・団体、印刷会社、製本・加工会社、資機材メーカー、GP審

トークショー終了後、参加者、小山薰堂PR大使、野地秩嘉氏を交え、懇親会が開催された。

今年度GPマーク普及準大賞を受賞され、永年に渡りGPマーク普及に多大なる貢献をしていただいている株式会社文伸の代表取締役社

査員、認定委員、推進委員等、立場の違う人たちが絆を深め、GPマークの普及拡大を誓い合った。

最後にGP推進部会長の全国グラビア協同組合連合会理事・吉原宗彦様による中締め挨拶で全員がGPへの思いを一つにした。



懇親会中締め挨拶
全国グラビア協同組合連合会
理事 吉原宗彦様